



公式サイトをぜひご覧ください。



前秋田県副知事

さるた かずみ 和 三

ふるさと秋田に、 人生を捧げる。

私は、秋田市豊岩で生まれ、大学進学で上京しましたが、「秋田の発展に人生を捧げたい」と県庁に入り、最後は副知事まで務めさせていただきました。

県庁職員として最も力を入れてきたのが「秋田の産業づくり」です。これは、一朝一夕に成果が出るものではなく、一職員としても、副知事になってからも、全国各地や海外を回り、ようやく一つひとつの種が芽を出し、芽は確実に育ってきました。秋田が這い上がっていく、豊かになっていく環境を一生懸命つくってきた一人として、県民の皆さまが豊かさを実感できるまで走り切るのが、私の責任だと思っています。

私は、秋田のためにやりたいことが3つあります。

1つは、秋田の産業をしっかり育て切ること。言ってみれば飯のタネをどんどんつくって所得を増やし、県民の生活を豊かにすることです。

2つ目は県民の暮らしを守ること。物価高、クマ、特殊詐欺などの対策を強化し、医療・福祉・介護の提供体制を盤石にし、そして、温暖化が進むなかで災害に強い秋田をつくることです。

そして、3つめは秋田の未来を担う子どもたちのこと。日本で最も少子化が進んでいるからこそ、生まれてきた子どもたちを日本一大切に作る秋田をつくることです。この3本柱で、秋田の最大課題である人口対策に真っ向勝負を挑みます。秋田を思うありとあらゆる方々と手をたずさえて、覚悟を決めてやり抜きます。

生まれ育ったこの秋田が発展し、後世に素晴らしい秋田を残していきたいと思うことは、秋田に生まれ育った者として誰しもが共有する思いのほずです。

秋田に、もっともっと強い産業をつくらせてほしい。秋田を、もっともっと災害に強く安心できる地域にさせてほしい。秋田に生まれた子どもたちがもっともっと元気に活躍できる環境をつくらせてほしい。秋田を思うすべての県民が、一丸となって秋田の発展に取り組んでいける、そんな県政をつくらせてほしい。

ふるさと秋田のために、人生を捧げ、全身全霊で働きます。

猿田和 三

最終開催 その他の日程は公式サイトで

さるた和 三と語る会

3/12

水曜日 秋田市
18:00~

秋田キャッスルホテル
秋田市中通1丁目3-5

入場 無料
申込 不要

手話通訳
あり

全県25市町村で「さるた和 三と語る会」を開催しています。
日ごろの困りごとや秋田発展のアイデアなど、何でもお聞かせください。みんなで強い秋田を作りましょう。

人口対策、真っ向勝負。覚悟を決めて、やり抜く。

所得を増やす

最低賃金目標を1.5倍に。

全国との賃金格差を解消し、中小企業の収益力を引き上げます。また、食料供給基地秋田の地域を確固たるものにして、収益力の高い農業を実現します。

中小企業が物価上昇や賃上げ分を価格転嫁できる仕組みづくり

トップセールスによる商品・技術等のPR

官民連携による事業承継やM&Aの推進

高校生・大学生のインターンシップや外国人材の受入強化等の人材確保

副業・兼業によるプロフェッショナル人材の活用

秋田米の生産増強とスマート農業の確立

園芸メガ団地の拡大と畜産振興による循環型農業

新規就農対策の強化

ほ場整備等基盤整備の推進、漁港・漁場整備と養殖の推進

林業の生産性向上と森林の循環利用・再生林の強化

再生可能エネルギー工業団地による未来型企业誘致

空路や航路、SNS配信によるインバウンド強化

暮らしを守る

物価高対策費を2倍に。

まずは物価高対策、クマ対策、特殊詐欺対策を強化します。医療・介護・福祉・交通の提供体制を盤石にし、インフラの維持と災害対策に万全を期します。

物価高で困窮している世帯への給付金

買物支援やエネルギー価格の高騰対策の実施

河川改修など防災インフラの強化と流域治水体制の構築

狩猟者の確保育成や里山管理等の地域の取組支援

特殊詐欺の徹底した広報活動

地域住民の助け合いによるライドシェアシステム等の検討

内陸線、由利高原鉄道の集客力・収益力の強化支援

訪問看護、訪問介護の早急な立て直し

医療、介護、福祉の人材確保に向けた修学資金の充実と処遇改善

消化器がん、がんゲノム医療の推進など先進医療の提供によるがん対策

消防団員の確保など消防力の維持・強化

多様性条例の浸透といじめやパワハラ撲滅

子どもを育む

給食費・医療費・保育料を無料に。

秋田は日本で最も少子化が進んでいるからこそ、生まれてきた子どもたちを日本一大切に育てる秋田、社会全体で子どもを育む秋田をつくりまします。

学校給食費、子どもの医療費、保育料の無償化

誰でも高等教育を受けられるよう奨学金制度の充実

子ども食堂やフリースクールを支援し、成長と学びをサポート

困難な環境にある子どもたち、障がいを持つ子どもたちへの支援拡充

男女とも育児休暇を取得しやすい就業環境の整備

保育士の確保や学童クラブの充実

職業体験や伝統文化、食育など知る機会の充実

芸術文化活動の活発化と人材の育成支援

スポーツの指導人材と世界で活躍するスポーツ選手の育成

社会問題になっているヤングケアラーへの支援

ふるさと教育の充実

子ども国際交流団の派遣など双方向の交流促進

県民一丸の県政運営 多くの声を反映し、判断と実行をスピードアップします。

県民対話局(仮称)の設置

知事直轄の「県民対話局(仮称)」を設置し、県民対話を進めながらICTを活用して県民の意見を速やかに政策に反映できる体制をつくりまします。変化の激しい時代に対応していくため、政策の判断と実行を大幅にスピードアップし、県民の皆さまと一丸となって県政を運営していきます。

意思決定に女性の考えを

ジェンダーの固定観念を一掃し、性別にとらわれずに活躍できる秋田をつくるため、まずは女性の副知事を任命します。そして、意思決定できるポジションへの女性登用を進め、管理職の男女比率を早急に改善します。また、「女性会議」を立ち上げ、広く女性の声を政策に反映させていきます。

大学生・若者参加型の県政運営

秋田の未来をつくる大学生や若者の思いや考えを県政に反映するため、ICTも活用した「若者会議」を立ち上げ、在学中も含めた起業などの挑戦を支援します。そして、若者がこれからも秋田で活躍するために必要な政策の立案と事業の実施にも参加してもらえる仕組みをつくりまします。